

「分野超え議論の輪を」

サンゴ礁学会 中野さんら
南伊豆での保全、活用法

NPO伊豆未来塾

NPO法人伊豆未来塾
(石川憲一理事長)は27
日夜、南伊豆町下賀茂の
湯の花観光交流館で、日

本サンゴ礁学会サンゴ礁
保全委員会委員長の中野
義勝さんと筑波大下田臨
海実験センター助教のシ
ルバン・アグステイーニ
さんによる講演「南伊豆
のサンゴの保存と活用に
ついて」を開いた。中野
さんはサンゴの保存につ
いて「まずは漁業、観光、
教育など、各分野に従事
する人がネットワークを
持ち、話し合いの土壌を
つくる必要がある」と説
いた。

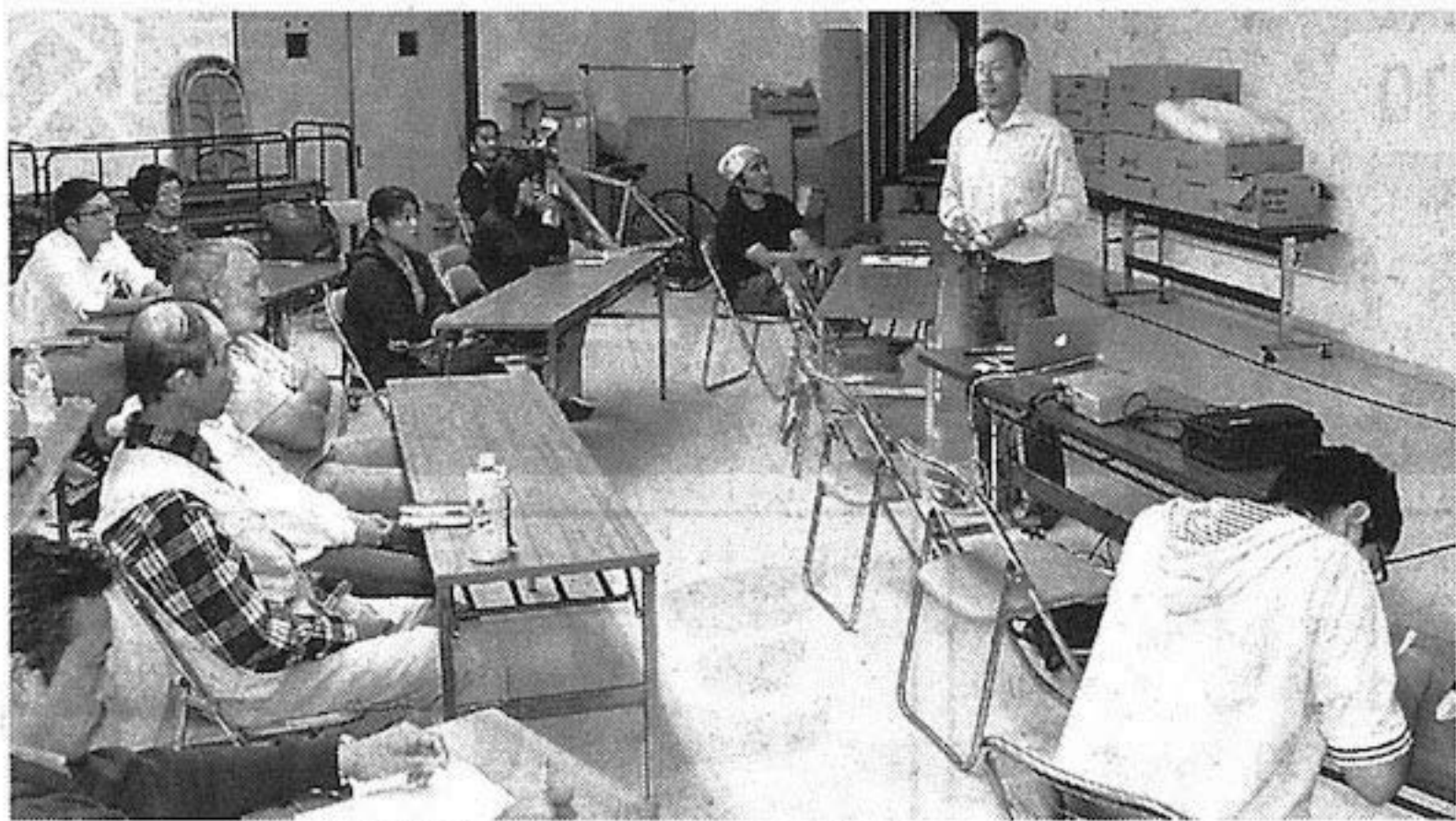
町民ら約20人の参加が
あった。アグステイーニ
さんは伊豆に存在するサ
ンゴを紹介。世界的に、
温暖化によるサンゴの白

化と海の酸性化が進んで
いると指摘した上で「将
来、サンゴの環境がどう

なるかはまだ分からな
い。伊豆での活動として
はモニタリングを継続す

るほか、調査範囲を広げ
ていきたい」とした。

沖縄県サンゴ礁保全推
進協議会の会長を務める
中野さんは、沖縄で起き
てきたサンゴ破壊の問題
を例示。「伊豆に基地は
なく、大きなリゾートも
ない。サンゴの保全につ
いてまだまだ自分たちの
こととして議論する余地
がある」とし、分野を超
えて議論の輪を広げる必
要性を説いた。



沖縄の事例をもとにサンゴの保全について説明する
中野さん＝南伊豆町下賀茂の湯の花観光交流館